

沼島地域おこし協力隊、新隊員着任



▲新隊員に任用された安藤さん(右から2人目)

沼島の活性化に取り組み「沼島地域おこし協力隊」の新隊員として千葉県出身の安藤美祐さんが昨年12月1日に着任。4日、市役所中央庁舎で任用式が行われました。

総務省が平成21年に設けた地域おこし協力隊制度は、都市部に住む人が人口減少や高齢化の進む地域に定住し、地域の活性化に取り組むものです。全国に617人(平成24年度末現在)の隊員が任用されており、沼島でも平成24年12月から2人の隊員が活動しています。



▲隊員として意気込みを語る安藤さん

ていきました。地域コミュニティが豊かな環境で、地域全体で子どもの成長を見守るような活動をしたいと考えていたところ、知人の紹介で沼島の同協力隊員の募集があることを知り応募しました。

任用式では、川野副市長から安藤さんに任用書とともに「沼島地域おこし協力隊」とプリントされたジャンパーや帽子などが手渡されました。川野副市長は「慣れない場所で大変と思うが、沼島の活性化のためにがんばってください」と激励。安藤さんは「沼島について学び、2人の先輩隊員とともに頑張ります。またこれまでの経験を活かして、沼島でできることを探したい」と意気込みを語りました。

2014年南あわじ市成人式が開催されました



▲新成人373人が参加した今年の成人式

2014年南あわじ市成人式が1月12日、文化体育館で開催されました。市内新成人396人のうち、当日は373人が出席。再会の喜びや笑顔で写真を撮り合う姿が随所で見られました。毎年、市の成人式は新成人が実行委員会をつくって自分たちの手で企画、準備、運営を行い、心に残るものを開催しています。

今年の成人式のテーマは「一歩」、二十歳という人生の節目を迎え、これまで家族や恩師、地域の人に支えられて人生を歩んでこられたことに感謝し、これから歩む人生を意義あるものにしようと決意を新たにしました。

式典では、二十歳を迎えての新成人インタビューや恩師の言葉を収録したオリジナルビデオの上映が行われました。また、10歳となる小学4年生47人が参加する1/2成人式が行われ、子どもたちが新成人に祝福の言葉を伝え、10年後の自分たちの成人式への招待状を手渡すなど、次代へつなぐ成人式も行われました。式典の最後、新成人を代表して実行委員長の井上秀人さんが「私たちが大きく羽ばたき希望あふれる社会を築く原動力となるよう、よりいっそう成長を遂げる姿を見守ってほしい」と話しました。



▲1/2成人式で舞台上で新成人にお祝いの言葉を伝える子どもたち

消防団協力事業所表示証伝達式



▲消防団協力事業所表示証伝達式「消防団協力事業所表示制度」表示マーク(右上)

消防団員が活動しやすい環境を整備するため、消防団活動に協力している事業所を認定する「消防団協力事業所表示制度」があります。

洲本市立文化体育館で12月12日、防災講演会にあわせて事業所への表示証の伝達式が行われました。新たに認定された協力事業所は次のとおりです。 ※順不同、敬称略

- ◆株式会社 坂本建設
- ◆沼島汽船株式会社
- ◆全淡建設株式会社

南あわじ市消防団、初出式

私たちの生命・財産を守るため日々活動している消防団。三原健康広場で1月5日、1070人の消防団員が参加し「平成26年南あわじ市消防団初出式」が行われました。

消防車両38台による機動隊入場につき、なでしこ分団、緑、西淡、三原、南淡方面隊の順番で、堂々とした分列行進を披露。地域の防災への決意を新たにしました。

集まった団員を前に、榎本一博団長は「いつ起こるか分からない地震、津波、火災等に対する十分な訓練を行っていく。地域とともに、地域防災に強いまちづくりを行い、1つでも減災できるように活動していく」と訓示。中田市長は「消防団活動のおかげで災害から地域が守られる。市民の安全・安心のためにこれからもよろしくお願ひします」とあいさつしました。

団員らは真剣な表情で話を聞き、気持ちを新たに身を引き締めていました。

からない地震、津波、火災等に対する十分な訓練を行っていく。地域とともに、地域防災に強いまちづくりを行い、1つでも減災できるように活動していく」と訓示。中田市長は「消防団活動のおかげで災害から地域が守られる。市民の安全・安心のためにこれからもよろしくお願ひします」とあいさつしました。

団員らは真剣な表情で話を聞き、気持ちを新たに身を引き締めていました。



▲堂々とした分列行進を披露する消防団員

南あわじ市南淡B&G海洋センターに和太鼓を寄贈



▲和太鼓を寄贈した蓮池さん

南あわじ市南淡B&G海洋センターに11月11日、元市議会議員の蓮池洋美さん(福良)が和太鼓1台を寄贈しました。

青年の頃に尼崎で少林寺拳法を習っていた蓮池さんは、福良に移り住んではからは自宅に道場を開き、少林寺拳法の普及に努めました。南淡B&G海洋センターが開設してからは、そちらでも同拳法の指導をスタートしました。

当初、同施設には和太鼓が

あり、武道大会や武道初め式等で活用していましたが、いつからか無くなり大変不便な思いをしていました。

蓮池さんは「市議会議員時代に寄贈が禁止されていたが、任期が満了したことを機に、同施設に和太鼓を寄贈すること決めた。この和太鼓を武道関係者の人たちに有効に使ってほしい。同和太鼓は少林寺拳法全淡大会(11月24日)に初めて使用した」と笑顔で話してくれました。

ASA絵画コンクール表彰式



▲絵画コンクールで入賞した子どもたち

ASAトラライアングル交流圏推進協議会主催の「南あわじ市の自慢」をテーマとした小学3・4年生対象の絵画コンクール入賞者表彰式が12月8日、淡路ファームパークイングランドの丘で市内受賞者とその家族が集まり行われました。

同協議会は、徳島県鳴門市(AWA)と香川県東かがわ市(SANUKI)と淡路島南あわじ市(AWAJI)の3地域が県境を越えて交流を深め、良好な地域環境を確立し、地域全体の発展を目的として平成2年度に設立されました。

同絵画コンクールは毎年開催しており、受賞作品は3地域を巡回して展示されます。

今回の作品を審査した鈴木久人氏(鳴門教育大学大学院教授)は「人形浄瑠璃の躍動感を調和のとれた画面構成とともに潤いのある色彩で表現した作品。すがすがしい色彩で海の上の風や波の音まで想像させられる鳴門海峡の風景画など子どもたちの地元に対する愛情が強く伝わるものばかりだった」と総評しました。

※受賞者は次のとおりです

- ◆南あわじ市長賞 加地 可実(倭文小)
- ◆南あわじ市商工会長賞 大河内悠衣(広田小)
- ◆一般社団法人淡路青年会議所理事長賞 岡田 幸大(広田小)
- ◆優秀賞
 - 山野 愛佳(倭文小)
 - 安田 涉夏(倭文小)
 - 西川 颯人(松帆小)
 - 楠 真由香(松帆小)
 - 太田未来翔(松帆小)
 - 中島 和夏(市小)
 - 喜住 梨那(福良小)
 - 長尾 堅太(福良小)
 - 西田唯一郎(福良小)
 - 小森 未来(福良小)
 - 澤田 拓翔(福良小)
 - 鯉森 智香(広田小)